

エコドライブツールについて

2009年3月16日

(社)日本自動車工業会

1. エコドライブツールに対する自工会スタンス

自工会各社は、エコドライブ推進に賛同し、その普及に努めている。

- 車からのCO₂をかなり削減できる。
- CO₂削減コストがかからない。
- 燃料代が節約できる。

2-1. 様々なエコドライブツール紹介

①平均燃費計

走行時の平均燃費を表示する。



②瞬間燃費計

走行時の瞬間燃費をリアルタイムで表示する。



メリット : エコドライブの定量的効果が分かる。

デメリット : 意識して使わないと効果なし。
どのようにすればエコドライブになるか、教えてくれない。

2-2. 様々なエコドライブツール紹介

③エコインジケータ

走行時の燃費状況をメーターで表示する。



④エコランプ

燃費の良い走行時、ランプでその状態を知らせる。



メリット : 自然に目に入り、エコドライブを意識する。

デメリット : エコドライブの効果が分からない。

2-3. 様々なエコドライブツール紹介

⑤ナビの燃費計

カーナビの画面に燃費情報を表示する。



メリット : 車に搭載されていなくても、ナビとともに装着できる。

デメリット : 燃費計を表示させる操作が複雑。

2-4. 様々なエコドライブツール紹介

⑥ ティーチングと運転制御ツール

ナビ画面上に運転操作のエコ運転度採点履歴や採点内容の詳細、また「燃費向上アドバイス」などの情報を表示し、ドライバーの運転の仕方を分析して、より低燃費な運転の仕方についてのアドバイスを表示する。



メリット : エコドライブに役立つ様々な情報が網羅されている。

デメリット : 大幅な燃費改善を狙った新しい技術であるが、対象車種も少なく、まだまだ効果検証できていない。

3. エコドライブツールの普及現状

- ・ 調査した結果、現在新車販売されている自家用乗用車のうち、73%の車種が、何らかのエコドライブツールを純正・オプションで装着設定している。
- ・ 乗用車全車種に搭載を宣言したメーカーもある。
- ・ 今後数年で、更に普及が進むことが予想される。

エコドライブツール装着設定状況

メーカー	新車での装着設定車種率	
	純正	オプション
A社	75%	2%
B社	96%	0%
C社	84%	0%
D社	67%	0%
E社	25%	0%
F社	44%	0%
G社	67%	0%
H社	75%	0%
合計	72%	1%
	73%	

※自家用乗用車のみをサンプリング。

※車種グレードの中でひとつでも装着設定されている場合にカウント。

※装着設定状況は、各重複が無いように修正。

(純正・オプションの両方に有だった場合、純正に有とした)

※ディーラー独自等のオプションは除いてある。

4. エコドライブツール認定の課題

- ・エコドライブツールは便利ではあるが、エコドライブにとって必要条件でも十分条件でもない。
エコドライブツールを用いなくても、エコドライブは可能ではある。
- ・エコドライブツールには様々なタイプがあり、一長一短で現状では優劣を付けがたい。
また、業界全体で模索中で、まだ進化中。
⇒現時点で、タイプを絞る事は難しい。
- ・急速に普及中なので、装着車種の把握が難しい。
(メーカー純正品ではないエコドライブツールも存在する。)

5. まとめ

- ・エコドライブツールには多様なタイプがある。
- ・自工会はエコドライブツールの普及に積極的に取り組んでおり、今後更に普及が進む。
- ・しかしながらエコドライブの実施はドライバーに委ねられている。
- ・グリーン購入法の判断基準とはせずに、配慮項目にすることを提案する。